

- カラー広告 ……【2】
- 特集カラー 平成22年度後期日本リーグ札幌大会……【4】
- カラーハイライト 平成22年度全日本選手権大会(カデットの部)……【7】
- カラーハイライト 第7回全日本学生選抜選手権大会……【10】
- 大会報道 平成22年度日本リーグ後期札幌大会……【14】
- 大会報道 平成22年度全日本選手権大会(カデットの部)……【17】
- 大会報道 平成22年度全日本選手権大会(マスターズの部)……【20】
- 日本の肖像 山村輝治(株式会社ダスキン代表取締役社長)……【22】
- 夢に向かった散歩道 近藤欽司(JOCエリートアカデミーコーチ)……【24】
- 練習のヒント 織部幸治(ITS三鷹代表)……【26】
- 中学生の指導 多田進(親愛ムーサスクール代表)……【28】
- 大会報道 第16回アジア競技大会……【30】
- ミニインタビュー 小野豊(岩手県卓球協会会長)……【37】
- インタビュー 新井卓将(丸子橋卓球スタジオ代表)……【40】
- カラーハイライト 第3回日本・韓国ラージボール大会……【45】
- 大会報道 平成22年度第4回福島県小学生リーグ大会、小中高生リーグ大会……【48】
- 訪問レポート 高富中学校(岐阜県)……【50】
- 訪問レポート 藤ミレニアム(大阪府)……【52】
- ピンポン東西南北……【31】
- 第5チャンネル……【32】
- 各地レポート……【34】
- 各地ラージボール大会……【42】
- みんなのコーナー……【44】
- 編集室……【44】
- ニッタク講習会……【54】
- 卓球ファンnet……【55】

Message

第3回日本・韓国ラージボール大会が11月13日(土)、14日(日)の2日間、韓国・南海室内体育館で開催された。

日本から60名、韓国から340名が参加した。韓国にラージボールが普及して4年目になる。宋仁子国民生活連合会副会長(ラージボール委員会委員長)は、「ラージと硬式の両方、あるいはどちらかをやっている愛好者の方は30万人になります」とインタビューで答えてくれた。

韓国も高齢者が元気である。ますますラージ人口は増えていくだろう。

団体戦は、2日目の14日に行われた。私は、240代(4人の合計年齢)で沖縄

の兼島さん、市原ラージの西沢さん、置鮎さんと同じチームで参加した。兼島さんとは横浜で開催された世界ベテラン大会のときに知り合い、それ以来、懇意にしている。西沢さんとは10年以上前に市原ラージを訪問、そのときからお世話になっている。置鮎さんは、1回目の日本・韓国ラージボール大会のとき、前夜祭で忘れ物をして、それを届けた記憶がある。とっても元気な人だ。

一緒にチームで卓球をしたのは初めてだったが、ホントに楽しかった。

楽しいのが一番である。ますますのご活躍をお祈りいたします。(片野)



表紙
全日本カデットでベスト8以上に入った選手たち
撮影 温 哲亮